

**問1** 現代の企業活動において、廃棄されるものを最小限に抑え、再利用を徹底する努力が求められています。このような「限りある資源を有効に使う社会」を目指す背景として最も適切なものはどれですか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 天然資源には限りがあり、廃棄物の増加が深刻な環境問題を引き起こしているため | 2. インターネットの普及によって情報の流通量が増え、資源の管理が容易になったため | 3. 少子高齢化によって国内の消費が減少し、安価な製品を大量に作る必要がなくなったため | 4. 高度経済成長期のように、輸出を拡大して外貨を獲得することを最優先としているため |
|--|---|---|--|

**問2** かつての大量生産・大量消費・大量廃棄を中心とした社会から「循環型社会」への転換が求められている背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福岡県公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 限られた地球の資源を有効に活用し、将来の世代にわたって持続可能な生活環境を維持するため。 | 2. 情報通信技術の発達により、実体のある製品を介さずに経済活動を行うことが可能になったため。 | 3. 都市部への人口集中を解消し、地方において自給自足の生活を営む人々を増やすため。 | 4. 所得の格差を是正し、すべての国民が均等に新しい製品を購入できる権利を保障するため。 |
|---|---|--|--|

**問3** 二酸化炭素の総排出量が非常に多い中国やアメリカ合衆国の現状や、先進国における一人あたりの排出量の多さが問題となる中で、1997年の気候変動枠組み条約締約国会議で採択された「京都議定書」が果たした役割として正しいものはどれか。（2015年 山口公立入試 類似）

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. 先進国に対して、温室効果ガスの排出削減を法的拘束力のある数値目標として義務づけた | 2. すべての締約国に対して、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に保つ目標を課した | 3. 絶滅のおそれがある野生動植物の国際的な取引を規制し、生物多様性の保全を義務づけた | 4. 発展途上国のみを対象として、熱帯雨林の保護と引き換えに先進国からの資金援助を定めた |
|---|---|---|--|

**問4** 2015年の国連サミットにおいて、2030年までに世界が直面している貧困、飢餓、環境破壊といった様々な課題を解決し、より良い未来をつくるために採択された17の目標を何と称していますか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- |                    |                    |           |                   |
|--------------------|--------------------|-----------|-------------------|
| 1. 持続可能な開発目標（SDGs） | 2. ミレニアム開発目標（MDGs） | 3. 環境基本計画 | 4. 持続可能な社会形成推進基本法 |
|--------------------|--------------------|-----------|-------------------|

**問5** カカオ豆などの国際価格の変動と実際の取引価格の関係について、ある貿易の仕組みでは「国際価格が設定された基準を下回った期間のみ、一定の価格が維持され、国際価格がその基準を上回っている期間は、国際価格に連動して取引される」という特徴があります。この仕組みにおける価格設定の考え方として正しいものはどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 生産者の利益を守るため、国際価格の暴落時でも最低取引価格を下回らないようにする。 | 2. 消費者の負担を減らすため、国際価格の変動に関わらず常に一定の平均価格で固定する。 | 3. 市場競争を促すため、常に国際価格よりも安い価格で取引が行われるように設定する。 | 4. 先進国の企業が利益を独占するため、国際価格に関わらず買い手が自由に価格を決定する。 |
|---|---|--|--|

**問6** 日本の物流業界では、2020年度に約4万人だったトラック運転手の不足数が、2030年度には約21万人に達すると予測されています。このような背景から推進されている、輸送手段をトラックから鉄道や船舶へ転換する「モーダルシフト」の利点として、適切な説明を選びなさい。（2026年 山口公立入試 類似）

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. トラックに比べて輸送1トンあたりの二酸化炭素排出量を抑えることができ、人手不足にも対応できる。 | 2. トラックに比べて各家庭へのきめ細やかな配送が可能になり、再配達の問題を根本から解決できる。 | 3. 全ての輸送を船舶に切り替えることで、道路整備にかかる公共投資を完全に廃止することができる。 | 4. 鉄道を利用することで、天候や災害の影響を全く受けずに、トラックよりも常に短時間で荷物を届けられる。 |
|--|--|--|--|

**問7** 1997年に採択された京都議定書の大きな特徴であり、後の2015年に採択されたパリ協定との主な違いとなっている点は何ですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

- |                             |                                 |                              |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 先進国だけに温室効果ガスの削減義務を課している点 | 2. 発展途上国を含めたすべての加盟国に削減を義務づけている点 | 3. 環境問題よりも経済発展を優先することを認めている点 | 4. 二酸化炭素以外の温室効果ガスを削減対象から除外している点 |
|-----------------------------|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------|

**問8** 持続可能な社会の実現に向けて、エネルギー源の転換が課題となっています。石炭火力発電が1キロワット時あたり943グラムの二酸化炭素を排出するのに対し、太陽光（38グラム）や風力（25グラム）といった、自然界の力を利用し、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、繰り返し利用できるエネルギーを総称して何と呼びますか。（2016年 三重公立入試 類似）

- |              |         |               |           |
|--------------|---------|---------------|-----------|
| 1. 再生可能エネルギー | 2. 化石燃料 | 3. バイオマスエネルギー | 4. 温室効果ガス |
|--------------|---------|---------------|-----------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 天然資源には限りがあり、廃棄物の増加が深刻な環境問題を引き起こしているため	地球上の資源には限りがあり、これまでの大量廃棄は埋立地の不足や地球温暖化などの環境問題に直結してきました。持続的な経済活動を維持するためには、資源を単に消費するのではなく、循環させて環境負荷を軽減させる仕組みが必要不可欠となっています。
問2	<b>答え 1</b> 限られた地球の資源を有効に活用し、将来の世代にわたって持続可能な生活環境を維持するため。	20世紀型の大量消費社会は、豊かな生活をもたらした一方で、地球温暖化や資源枯渇といった深刻な環境問題を引き起こしました。こうした反省から、資源を使い捨てにせず、再利用可能な形で循環させる仕組みを作ることが、人類全体の持続可能な発展（SDGs）に不可欠な要素となっています。
問3	<b>答え 1</b> 先進国に対して、温室効果ガスの排出削減を法的拘束力のある数値目標として義務づけた	当時の国際情勢では、経済発展を優先する発展途上国と、環境保護を求める先進国の対立がありました。そのため京都議定書では、まず歴史的に二酸化炭素を多く排出してきた先進国が責任を持つという形で、法的拘束力のある削減目標を導入しました。しかし、中国やアメリカが義務を負わない、あるいは離脱するといった課題も残されました。
問4	<b>答え 1</b> 持続可能な開発目標（SDGs）	2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標です。「誰一人取り残さない」という理念のもと、発展途上国だけでなく先進国も含めたすべての国々が取り組むべき共通の目標として、経済・社会・環境の3つの側面から17のゴールが設定されています。
問5	<b>答え 1</b> 生産者の利益を守るため、国際価格の暴落時でも最低取引価格を下回らないようにする。	フェアトレードの大きな特徴は、価格の完全な固定ではなく「最低価格の保証」にあります。市場価格が極端に下がった場合でも、生産者が生産コストを回収し生活できるだけの最低ラインを維持します。一方で、市場価格が高騰した場合にはその価格に合わせて取引を行うことで、生産者がより多くの利益を得られるような仕組みになっています。これにより、市場の変動に左右されやすい開発途上国の生産者の生活安定を図っています。
問6	<b>答え 1</b> トラックに比べて輸送1トンあたりの二酸化炭素排出量を抑えることができ、人手不足にも対応できる。	トラックによる輸送は、鉄道や船舶と比較して二酸化炭素の排出量が数倍から十数倍多いというデータがあります。輸送手段を転換することで、環境負荷を軽減するだけでなく、一度に大量の貨物を運べる利点を活かして、深刻なトラック運転手不足という社会課題を補う役割が期待されています。
問7	<b>答え 1</b> 先進国だけに温室効果ガスの削減義務を課している点	京都議定書は、歴史的に温室効果ガスを多く排出してきた先進国の責任を重視し、先進国に対してのみ法的拘束力のある削減目標を課しました。これに対し、2015年のパリ協定は、発展途上国を含むすべての国が削減目標を作成・提出する仕組みとなっており、国際協力の範囲が広がっています。
問8	<b>答え 1</b> 再生可能エネルギー	太陽光、風力、地熱などは、石油や石炭などの有限な資源である化石燃料とは異なり、自然界の循環の中で繰り返し利用できるため、再生可能エネルギーと呼ばれます。これらは発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が非常に少ないという利点があり、国際社会における重要なエネルギー資源として位置づけられています。